

堀内議員 通告どおり質問させていただきます。よろしくお願いします。牟岐町総合戦略の中で「基本目標２、牟岐町で安心して働ける雇用の場をつくる」というのがありますが、中小企業への支援や若い世代への起業支援等により、良好なビジネス環境の創出を目指しますとありますが、現在どのような支援が行われているか。同時に「牟岐町版エコノミックガーデニング」では、スモールビジネスの起業支援・起業相談の実施、ビジネス情報の集約・発信、企業間のネットワーク強化や交流支援、企業誘致等に取り組みますとありますが、創業支援事業者に対する窓口はどこになるのか。ビジネス情報の集約・発信については「ふるさと納税」制度を利用し、情報の集約・発信に加え販路開拓にもつながると思うが、今後の構想はどのようなものか。つぎに「交流の促進と移住への展開」ではローカルハイスクールを通じて、町内外の住民の交流を促進していくとありますが「アワビ祭り」など住民の交流になり得る行事が小学校の参観日と重なっているように思うが町内外の住民の交流について、どのように捉えているのか。また、海部病院移転により通院が不便になった声を耳にします。「持続可能なまちづくり」では、高齢者と交通弱者対策として、関係機関と連携しながら、新たな公共交通システムの導入を検討します。とありますが、バスの発着地を増やす等、交通弱者対策が必要ではないか。それらに伴いまして、改修した施設について、旧牟岐小学校など改修し、交流の場や活性化につなげる目的のものが何件か現在ありますが、費用対効果に合っていないように感じます。小さい箱物を増やすなら、福祉や企業支援に回すべきではないか。以上質問させていただきます。

杣富議長 福井町長。

福井町長 牟岐町総合戦略計画等にかかるご質問ですが、議員ご質問の中小企業の支援策、若者世代の起業支援策は、現在のところ、牟岐町にはありません。これまでも、住居支援や税制優遇あるいは金銭的支援等について議論を重ねましたが、本質的な支援でないことやその継続性から、実現にいたっていません。また、牟岐町版エコノミックガーデニングに係る相談窓口は、公的に周知はしていませんが、産業課になろうかと思います。牟岐町独自の支援策はありませんが、

国や県が実施している支援策についてご案内することは可能であると考えています。先に、横尾議員よりご質問のあった『小規模企業振興条例』の策定とともに、今後、商工会等関係機関と協議、連携し、必要な支援策を検討してまいりたいと考えています。次に、「ふるさと納税」制度を利用した、情報の集約・発信、販路開拓についてですが、現在の牟岐町の返礼品は、種類も工夫も少なく、議員ご指摘の十分な効果が出ていないと思います。今後、更なる充実に向け検討していくべきと考えますが、本年4月1日付けの総務大臣による「ふるさと納税に係る返礼品について」の通知では、1つ、ふるさと納税は返礼品の送付を強調して募集は慎むこと1つ、ふるさと納税の趣旨に反する返礼品は送付しないこと1つ、返礼品の価格割合は3割を超えないことなどの指導があり、現在、返礼品や募集方法、発信手段等について、主旨に反していないか、再度検討しているところです。今後、国の指導も踏まえた、「ふるさと納税」のあり方について、牟岐町創生につながるように検討していきたいと考えています。つぎに、移住交流にかかる取り組みですが、元来、交流促進は、最高の成果は移住ということになりますが、一般的には、牟岐町における消費の拡大です。アワビ祭りの日が、小学校の参観日と重なっており、小学生の参加が少なかったというご批判がありますが、実行委員会と学校側のすり合わせが十分でなかったため、学校側は、例年5月の連休中にあわび祭りがあると思い込んでいたため、4月最後の土曜日に参観日を開催したとのことです。今後は、双方が留意していただけるよう留意して参りたいと思います。つぎに、海部病院移転に伴う、高齢者等交通弱者対策についてですが、これまで、地域公共交通会議を開催し検討を重ねてまいりました。その結果、本年度から徳島バス南部（株）による路線バスについて、海部病院経由での運行を行っていただくこととなりました。また、80歳以上の高齢者に対し1回300円、年間12回のタクシー助成券の発行を実施しています。今後、現公共交通機関の運行、タクシー助成券の内容検討、新たな交通システム等の導入も含め、地域公共交通会議等の中で協議していきたいと考えています。最後に、改修した施設の有効活用についてですが、これまでの交流施設は、費用に関しては、旧牟岐小学校は、国の100%補助事業、出羽島波止の家も40%余りを国費で賄っており、その費用対効果を出すのは、少し難しいかなと考えています。また、使用方法についても、まだ、十分な周知ができておらず、十分な活用に至っていないところもあります。両施設の使用については、今後、十分活用して頂けると思っています。詳細は、教育委員会からお答えします。すいません。少し間違ってお答えしたようです。80歳以上の高齢者に対して、1回300円、年間24回のタクシー助成券を発行しています。失礼しました。

枅富議長 久米教育次長。

久米教育次長 私からは、堀内議員のご質問のうち「改修した施設について」ということで、主に回答させていただきます。牟岐町の総合戦略の記載からのご質問と思いますが、まずご質問の中で交流促進と移住への展開では、「ローカルハイスクールを通して、町内外の住民の交流を促進していく」とあるが、とご質問されましたが、これは、確かにその項目の中の表の中に一つの事業としてローカルハイスクール事業が交流人口の増加が期待できる事業ということで、掲載していますが、本来、ローカルハイスクール事業が交流促進のための目的ではないということをご理解いただけたらということをもまず最初にもうしあげたいと思います。費用対効果について主に回答させていただきますが、改修した施設につきましては、施設ごとに目的で期待する効果、成果があります。総合戦略等に掲げた事業を進めていく中で、必要に応じて改修し、活用しているということです。主だった施設を申しますと、まず旧の河内小学校、地域活性化センターとして活用しています。地域おこし協力隊の活動もベースにもなっているところです。あとは旧の牟岐小学校の北校舎の1階です。多目的な交流施設ということで、職と泊もかねそろえた施設となっています。出羽島波止の家は、旧の元木さんのお宅を譲り受けまして改修をした施設です。それと、今議会に提案させていただいています、人財づくり事業のための牟岐キャリア支援センターが主だったものになると思います。まず、まちづくりの観点で申しますと、出羽島で波止の家を拠点に飲食提供や来島者対応などの新しい経済活動への試みが始まっています。既に施設管理も含みまして、そこで事業展開というのが、移住者も含めまして、始まっているところでして、これは一つの成果と捉えてもいいのではないかとこのように考えています。また、移住者も現在5名で、週末にお越しになるご家族が3世帯ということで、移住者対応も含めまして、先行議論をされているところです。そこから、町外でそういった活動をされている方が定期的に出羽島でそういった事業を展開したりとか、三好市でへそキャンプというところを運営されているところが、月に1回、「牟岐の朝獲れ鮮魚を味わう夜」を三好市で開催されていて、朝牟岐町に入って出羽島等で魚を仕入れて、その日のうちに朝どりの牟岐の魚を三好市で食べるといったことも定期開催されていまして、一定の経済の動きが出ているのではないかとこのように考えています。あと、もう一度、地域活性化センターですが、そこを拠点に活動する地域おこし協力隊が今年度、自然環境、一次産業をテーマにした、こうした実活動を通した事業を学校の総合学習時間に子ども達に実施するところです。こういった活動につきましては、地域との連携、住民の方々との連携の中から生まれた事業でして、これに伴って地域力のアップというところにも地域の方が動くということで、それを子ども達に授業として牟岐のことを知ってもらう、学習に結びつけるといったところ

で、効果が出ているというふうに考えています。また、牟岐町の情報発信等も積極的に進めていまして、他の地域と相互交流、それから、町外からの交流者の受け皿として一躍を担っている施設になっているのではないかとこのように考えます。ただ1点、当初の設置の目的でありました町内の異業種間交流というところが、これからかなという感じがしますが、こうした活動を通じて、そうした動きがあつた施設を拠点で動き出していただければというふうに考えています。つぎに人財づくり事業の観点で申しますと、旧牟岐小カフェが代表的な学びのフィールドとなっています。家庭や学校とは違う特別な空間として、子ども達には認識されてきつつあります。町外から牟岐町に通う大学生にとっても特別な場所となつていまして、県外の教育機関等からも、その活動と併せて非常に注目度が高くなつています。遠くは長崎県から視察においでたり、こちらから出向いて、講演をしたりとか、あと、九州の方、冬に視察をされた長崎県の方が、ぜひ牟岐町の高校生を長崎県に来ていただいて、長崎の高校生の前で話しをして欲しいみたいなところまで効果が上がっているのかなというふうに考えています。結果として、こういった人財づくり事業で交流者が牟岐町の子ども達の人的資源である。そこに結びついていくというようなところで、それぞれ効果というものをしているところです。今回提出の水防倉庫の改修につきましては、人財づくり事業のコアパートナーとなる大学生、牟岐町での滞在場所である森田邸が夏以降使えないということもあります。また、牟岐町が設置した企画運営を委託しています牟岐キャリア支援センターの事務所、現在、図書館の倉庫に間借りをしていまして、学生の滞在場所と合わせて利用可能な遊休の町有物件を事務所とすることが経費的にも合理的であると考えまして、水防倉庫の2階を一部改装して事務所等として活用する案を提案させていただいているところです。以上です。

杵富議長 堀内議員。

堀内議員 再問させていただきます。企業支援相談等窓口が産業課ということですが、創業事業継承補助金事務局とホームページ内には認定市区町村が載っているのですが、その中に牟岐町が載っていないのですが、牟岐町は手をあげていないということなのか。申請していないのなら、なぜ申請していないのかというのがまず1点。あとは先程の改修の施設について、出羽島等々、活動内容とか聞いていますし、成果が出ているかなというふうに思うのですが、河内小学校の例で言いますと、当初、町長の答弁にもあったと思うのですが、EC事業を拠点にしていくという話しだったので、動きもなく今後の予

定も入っている。三協地区の活性化拠点にしていくという話もあったと思うのですが、今後、地域おこし協力隊、今年8月に一人になっていくので、それは一人でそういう活動が継続可能なのかという疑問が少しありまして、観光協会の事務局も旧河内小学校に設置されたはずなのですが、半年も経たないうちに別のところという話も出てきていますので、少し計画があまいのではないかと、箱を改修してから計画が動いているふうに捉えて感じます。あとは町長の方針と担当の課の情報共有というか、意識の共通がもしかしたらできていないのではないかとというふうに考えます。現、旧牟岐小学校を改修していろんな、町外、県外の方達にきていただいている話も聞くのですが、それは旧牟岐小学校を改築したので、そういう効果が出てくるのかというのには疑問を感じます。例えば、牟岐中学校の一室でそういう活動をしていたとしても、評価されていたのではないかと。あの場所だから評価されていたというのは、少し疑問があります。全体的に計画があまいのではないかと思いますので、事業継承補助金を牟岐町が申請していないのはなぜかという点と今後の計画は、本当にきちんと解決するようにできていっているのかという2点再問させていただきます。

枅富議長 福井町長。

福井町長 議員ご指摘のとおり、計画性に欠けると言えば欠けるかも知れません。と言いますのは、地方創生というのは、手探りの状況で始まっています。ですから、役場だけで進めていくものでなくて、民間の方のご協力を得ながら、あるいは、民間の指導によって進めていくということもあって、民間の方がこうしたらどうかといったら、こうしてみましようかというようなことでやっている場合も多々あります。したがって、例えば、観光協会を別にしても町がここで決めてやるのかというのではなくて、活性化センターの中で地域おこし協力隊がいて、観光協会としたら、取りあえず、あの場所しかないのではないかとというふうに決めていたところ、例えば、あんどんをやられている方が観光協会の活動も一緒にやりたいということで、今度は牟岐小学校の給食センターのところで一緒にできないかとか、そういうふうなことなので、町が主導的に一時的に決めて進めているわけではないのです。とにかく皆さん方のお力を借りながら進めているので、なかなか計画的にうまく進んでいっている状況ではありません。本来は、そういうふうに進めていくべきですけども、人材不足、あるいは、お金もない中でやっている状況で十分なことではないのですが、ご理解をい

ただきたいと思っているところです。それと、最初、ご質問いただいた事業認定申請の件ですか、その件については、担当からお答えします。

枅富議長 田中産業課長。

田中産業課長 堀内議員の創業事業認定ということで、ご質問がありましたが、私も勉強不足でありまして、その内容について詳細のところまで答えられないのですが、3年前の段階では、聞いたところによりますと、3年前の段階では規定にそぐわなかったため申請していない。申し出ていないというふうに聞いたのですが、そのような答えしか今はないので、また、改めて事業の内容を確認しまして、ご返答したいと考えています。

枅富議長 久米教育次長。

久米教育次長 再問にありました旧の牟岐小を改装した場所、あの場所でなければならないのかということですが、回答のときにも申し上げましたが、家庭や学校とは違う特別な空間ということで認識しています。なくてはならないということにつきましては、場所があれば、どこでもできるのかということかも分かりませんが、私どもとしましては、より効果の高い場所として捉えています。これはそこで学ぶ子ども達と大学生、大学生は学業、試験、就活アルバイト、この時間を牟岐町のために往復4時間、こちらでの時間、たまには泊まります。それ以外にも1か月に1回、それぞれ小中学生向けと高校生向けのプログラムを作っていきます。その合間に彼らはインターネットを通じて会議をしたり、徳島にサテライトオフィスがあります。そこで打ち合わせをしたりして作り上げて牟岐町に来てくれます。もう私は第2町民と言ってもいいのではないかと思います。例えば、中学校の空き教室を使って大人がこれをやると、これは学校と一緒にです。そことは違うことを求めているのが総合戦略で行っている人財づくり事業というふうな観点で、私どもは事業を進めていますので、どうぞご理解をいただきたいというふうに思います。よろしくお願いま

す。

杣富議長 堀内議員。

堀内議員 ローカルハイスクール、人財育成の効果は見えにくいとは思いますが、これ的には効果が出ていると思っています全体的には、知名度が上がりましたし、交流人口も確実に増えていますし、中学生達の活動の幅というか、考え方も増えているだろうと考えるのですが、場所を提供して、その場所があったかという活動内容が評価されているというのが一番大きいと思います。これは計画が少しあまいのではないかなというのが、今、そういうふうには旧牟岐小学校を使って、いろんな活動発信になってきたのですが、また、新しい場所をいえるようになってきている。また、新しい団体ができたら、どんどん箱物が必要になるのではないかと思いますので、一度冷静に今後こういう流れになっていって、こういう動きを計画しているのだったら、こういう場所がもしかしたら、今、最終の場所も狭くなるかも知れないですし、そこら辺の計画をもう一度見直していただいた方が活動内容がより良くなるのではないかと思いますので、そこは直していただきたいと思います。創業に関してですが、私も記憶違いになるかも知れませんが、創業補助金をいただくには、地方指定市区町村区、市区町村でないといいただく補助がもらえない制度に変わってると思うのですが、それを調べるサイトに牟岐町が載っていないということですし、徳島県内は19件持っているはずで、海陽町、美波町も載っていますし、実際に美波町で起業した人も補助金をいただいているという実例がありますので、そこをなぜ牟岐町がないのか、よく調べていただきたいし、商工会関係等とか、そういうのを牟岐町が手をあげてくださいという声もおそらく入っているだろうと思うので、そこも入っているのか、入っていないのかというのを調べていただきたいので、その2つを要望しまして、質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。